

第10回 埼玉輸血フォーラム

## 開会あいさつ

埼玉県合同輸血療法委員会 代表世話人 池淵 研二

皆さん、こんにちは。本日は埼玉輸血フォーラムにお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

埼玉会館の角を曲がり、このさいたま市民会館うらわに歩いてくる途中にある玉蔵院の庭に見事な枝垂桜が満開で綺麗でした。歩行者がどんどん入っていくので私も連られて入り、堪能いたしました。まだ会場の方で見ておられない方がいらっしやいましたら、帰りに是非見ていただきたいと思います。

さてこの埼玉輸血フォーラムは、埼玉県合同輸血療法委員会の年度内に行った企画を発表させていただき、またとない機会となっています。輸血業務検討小委員会、看護師部会、適正使用推進小委員会、自己血輸血小委員会が活動していますが、委員にとっては毎年2月か3月に開催されるこの輸血フォーラムを意識して、企画をまとめ発表できるように準備しております。今年度も1) 輸血を開始する際の赤血球データのトリガー値について、2) 県内医療機関の赤血球製剤の使用量と廃棄率についてのアンケート調査の結果のまとめ、3) 安全な輸血を目で見て学習していただくためのDVD制作とその公開、そして4) 輸血後

に発生する不規則抗体の有無を通知する不規則抗体カードの発行状態と活用についての実態調査など報告が予定されております。

パネルディスカッションでは、臨床現場でよくちよく遭遇する「こんな輸血オーダー、困ります!」の場面を想定して、看護師、検査技師、医師から症例提示があり、会場から多くのコメントをいただけるよう企画が準備されています。

教育講演では東京医科大学病院渡航者医療センターの濱田篤郎先生をお招きし、「海外渡航者の感染症対策」についてご講演をお願いしています。先生がご講演を数年前に行われた検査技師会で聞かせていただいたことのある、私の病院の前技師長から、「素晴らしい講演でした、とても面白くてどんどん引き込まれました、とてもためになったので、是非何か機会があれば濱田先生をご招待下さい」とメッセージをもらっていました。濱田先生に本日来ていただき、大変ワクワクしています。

それでは、今日の埼玉輸血フォーラムが参加された方々にとって有意義な会であり、楽しい時間を過ごしていただけますようお願いしています。